

# 令和7年度 心を育む学校給食週間の取組み

## ◆実施校数:332校

学校給食を実施している小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

## ◆実施内容

「こころ」づくり	食の背景に広がるいのちのつながりに気づく。 食に関する文化を理解し、作法を身につける。
<p><b>【取組みの特徴】</b></p> <p>学校給食に携わる生産者や地域の方との交流給食や、教科等との連携による栽培活動を通じ、食の背景に広がるいのちのつながりに気づき、食べ物を大切にしようとする気持ちが高まった報告が多かった。また、学校給食の歴史や食に関する情報を見童生徒が調べ、委員会活動等を通じ学校内で発信していく取組みも見られた。</p>	

## ～5年生が育てた大根で世界旅行給食(高島町立糠野目小学校)～



【136年前の給食】

【アメリカ料理】

【インド料理】



有機米のおにぎり 鮭の塩焼き  
煮びたし 大根とわかめのみそ汁  
牛乳





ジャンバラヤ 野菜チャウダー  
レモンゼリー 牛乳



ナン バターチキンカレー  
チャナサラダ 牛乳

## 「こころ」づくり(豊かな心の育成、社会性の涵養)取組事例

学校名	山形市立本沢小学校	
実施期間	令和7年12月9日(火)～12月15日(月)	
<p><b>【教科と連携】</b></p> <p>○総合的な学習の時間「ぶどうの栽培活動」(7月実施)</p> <p>6年生が地区の特産物であるぶどうを学校でも栽培し、収穫後に全校生に振る舞う給食を行った。</p> <p>◎成果</p> <p>栽培学年(6年生)は、自分たちが育てたぶどうをおいしく食べてもらえたことに喜びを感じ、ごちそうになった他学年は、感謝の気持ちをもつとともに、地域に誇りを持つことができた。生産者に思いをはせ、地区の特性を理解し、地域を愛する心を育てることができた。</p>		

校名	山形市立第八中学校	
実施期間	令和7年10月27日(月)～10月31日(金)	
<p><b>【地域と連携】</b></p> <p>○育てた作物で「全校芋煮会」の実施</p> <p>9月に2年生を対象に、地域で農業を営む方より、悪戸芋の特徴や美味しさ等についての講話をしていただき、その後収穫作業を体験した。10月30日に八中のグラウンドで全校芋煮会を行った。1～3年生の縦割り班に分かれ、悪戸芋を使った芋煮を協力して作って食べた。大きくて粘り気の強い悪戸芋の美味しさを再確認した。</p> <p>◎成果</p> <p>生徒は悪戸芋についての講話を聴き、丹精込めて作られ日本各地から注文がたくさんくるような美味しい特産物が地元にあることを知り、改めて誇りに思うことができた。芋煮を全校生で協力して作り食べることで、仲間と食べる楽しさを味わうことができた。</p>		

校名	河北町立溝延小学校	
実施期間	令和7年12月1日(月)～12月5日(金)	
<p><b>【地域と連携・学校給食の充実】</b></p> <p>○生活科「さつまいもを育てよう」(1年生)</p> <p>本校の畑で1年生が育てた有機栽培のさつまいもを給食センターへ届け、「さつまいも汁」として、町内の小中学校7校の給食に提供していただいた。</p> <p>◎成果</p> <p>食材を育てる大変さや有機栽培の安全性とおいしさ、多彩な食材の生産者の方々の思いをはかり知ることができた。</p>		
		

校名	大江町立左沢小学校
実施期間	令和7年12月1日（月）～12月5日（金）
<p><b>【地域と連携】</b></p> <p>○いのちの学習（6年生）</p> <p>6年生を対象に、大江町山里交流館「やまさあーべ」の佐々木隆馬氏より、「いのちをいただくことについて講話をいただいた。</p> <p>◎成果</p> <p>6年生を対象にした「いのちの学習」では、生きているニワトリとのふれあいから始まった。ニワトリがお肉になっていく工程の話になると、涙を流しながら真剣に話を聞いていた。いのちをいただくことは、私たちが生きていくために必要で、決して悪いことではないということも教えていただいた。たくさんのいのちに支えられ生きていることを忘れず、食べ物を残したりしない、自分のいのちも大切にするなど、いのちを無駄にしないことを約束してくれた。</p>	





学校名	天童市立第一中学校
実施期間	令和7年6月30日（月）～令和8年1月30日（金）
<p><b>【学級活動・委員会活動】</b></p> <p>○「メッセージカード作り」</p> <p>1年生の取り組みとして、給食準備の食缶を取りに来る際に「給食が届くまで」のポスターを作り、委員がポスターを持ちながら残菜を減らすように呼びかけた。</p> <p>◎成果</p> <p>作成したポスターを掲示し、給食委員が声がけすることで、エプロンなどの忘れ物や残菜の減少に追なぐったと感じた。</p>	




学校名	寒河江市立西根小学校
実施期間	令和7年12月1日（月）～12月5日（金）
<p><b>【食育の充実】</b></p> <p>○「給食に関わる方々への感謝」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童が調理師へメッセージを書き、毎日おいしい給食を作ってくださいていることへの感謝の気持ちを伝えた。給食委員会の児童が昼の放送で調理師へインタビューを行い、作り手の思いを知ることができた。</li> <li>・西根地区にある魚屋や八百屋など、業者についての紹介を2階配膳室前に掲示した。</li> </ul> <p>◎成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童委員会の給食委員（5・6年）が主体となって事前に準備を行い、昼の放送でのクイズやインタビュー等ができた。</li> <li>・給食に関わる業者も西根地区にある身近な存在として、児童同士で話題にしていた姿がみられた。</li> </ul>	



学校名	東根市立東根小学校	
実施期間	令和7年10月27日（月）～11月7日（金）	
<p><b>【体験活動】</b></p> <p>○「配膳室前片付けボランティア」</p> <p>給食委員会が常時活動として行っている、残菜や残飯の取りまとめや業者さんへの容器の引き渡しを4～6年生の児童にも体験してもらう活動を行った。</p> <p>◎成果</p> <p>給食を食べ終わった後の片付けについて知ってもらい、給食に関わっている校内の先生方や業者さんについて知るきっかけになった。体験した子どもたちは、「こんなに残菜があると思わなかった。」「少しでも残菜が減らせるようにクラスで頑張りたい。」と残菜、残飯の量に驚く様子が見られた。学級でも残菜が減らせるように前向きに捉えてくれる児童もいて良かった。現状を見たことで、残ってしまう給食が「もったいない」と感じられ、食べ物を大切にしようとする気持ちが高まった。</p>		

学校名	尾花沢市立福原中学校	
実施期間	令和7年12月8日（月）～12月12日（金）	
<p><b>【学級活動・地域と連携】</b></p> <p>○「メッセージカード作り」</p> <p>日々お世話になっている調理場の方々へ感謝の気持ちをメッセージカードに書き、模造紙に貼って贈った。また、地区公民館との連携した取組として、地域のお年寄りの方に配付されるお弁当に添えるメッセージカードを書いた。</p> <p>◎成果</p> <p>閉校の年なので、調理場の方や地域のお年寄りの方にメッセージカードを書くことで、食を通して人とつながることをより意識した取組となった。</p>		

学校名	新庄市立八向中学校	
実施期間	令和8年1月26日（月）～1月30日（金）	
<p><b>【委員会活動】</b></p> <p>○生活委員会による「お米について」の発表</p> <p>生活委員会の話し合いで全体のテーマを「お米」に設定し、お米に関してそれぞれが興味のあることについて調べ発表した。発表の仕方・形式はそれぞれの担当でやりやすいものを選ばせて行った。</p> <p>◎成果</p> <p>イラストを描いたり、クイズを作成したりと、工夫して発表することができた。お米の歴史、外国米と日本米の違い、お米の栄養素など様々な視点からお米について関心を持ち調べることができた。食前に落ち着いた雰囲気を作るため生活委員が呼びかけをしていた。</p>		

学校名	長井市立伊佐沢小学校
実施期間	令和7年10月27日（月）～10月31日（金）
<p><b>【食育の充実】</b></p> <p>○体験型掲示物の展示</p> <p>給食の材料を栄養素別に分けたり、あみだくじで置賜の伝統野菜を知ったり、外国から入ってきた後に日本独自の発展をしたメニューを当てるなど、体験型の掲示物を展示した。</p> <p>◎成果</p> <p>体験型の掲示物を設置し、さらに健康ボランティア委員会活動の給食クイズと関連させた内容にすることで、児童の興味関心を引き、楽しみながら学ぶことができた。</p>	



学校名	南陽市立赤湯中学校
実施期間	令和7年12月1日（月）～12月5日（金）
<p><b>【食育の充実】</b></p> <p>○放送や掲示物の活用</p> <p>給食時の放送で、給食に使われている食材や地元の食材や郷土料理について紹介し、生産者や地元の特産品について理解を深めた。オーガニック食材の給食提供や、11月に提供された有機米給食・DVD視聴を通し、生産者の方への感謝の気持ちを持つ機会になった。</p> <p>給食週間に合わせた献立の掲示物を委員会で作成した。給食の始まりや給食の歴史を紹介する校内放送を行った。</p> <p>◎成果</p> <p>地元の食材を使った献立や南陽市で作られている有機米について知ることができた。保護者が農業をしている生徒もいるため、生徒の会話の中で家族や農業の話が上がるなど、身近な実感を持って興味や関心を持たせた生徒の姿がうかがえた。</p>	



学校名	鶴岡市立藤島小学校
実施期間	令和7年12月1日（月）～12月5日（金）
<p><b>【地域と連携】</b></p> <p>○「さんさん畑の会」の方々による食育の授業</p> <p>給食に提供する野菜を作っているさんさん畑の会から2名の方をお招きして、4年生児童に野菜や大豆などを栽培する際に気を付けていることや苦労していること、収穫の喜びなどについてお話を伺った。また、さんさん畑の会の方々が育てた大きな大根やかぼちゃ、粒のそろったきれいな大豆などを見せていただいた。</p> <p>◎成果</p> <p>さんさん畑の会の方々による食育の授業で児童は野菜や大豆などを栽培する際に気を付けていることや苦労していること、そこまで育てる農家の方々の様々な心配りや日々の世話を思いをはせる機会になった。</p>	



学校名	鶴岡市立豊浦中学校
実施期間	令和8年1月26日(月)～令和8年1月30日(月)
<p><b>【食育の充実】</b></p> <p>○食文化の理解「いかの塩辛づくり」</p> <p>イカを丸ごと使って塩辛を作る体験を通して、普段は意識しにくい「食材の背景」や、「命をいただくこと」への理解が深まった。手間のかかる工程を経験することで、料理を作る人への感謝の気持ちを育むことができた。</p> <p>◎成果</p> <p>地域や日本に伝わる食文化に触れ、郷土食や伝統食への興味・関心が高まった。</p>	



学校名	酒田市立亀ヶ崎小学校
実施期間	令和8年1月19日(月)～令和8年1月23日(金)
<p><b>【地域と連携】</b></p> <p>○酒田東高生の協力によるフードロス削減の取組み</p> <p>酒田東高校2年の課題探究B14班の協力で学校給食のフードロス削減に向けた、宮野浦小学校との学校対決で残飯量を比較するイベントを通し、楽しみながらフードロスの問題について考えた。初日には、給食の時間に高校生が書いた原稿をランチマナー委員が読んで給食週間中の取組について全校児童に放送した。</p> <p>◎成果と課題</p> <p>フードロスに特化した取組み内容にしたことで何をすればいいのかが分かりやすかった。高学年だけでなく全校での残飯量の減少効果がみられ、児童が残さず食べることを意識するきっかけとなった。クラス単位、学校単位で協力する姿勢が見られ食育への関心が高まり、給食時間の雰囲気も改善した。イベント後に残飯量が元に戻る傾向があるため継続的な仕組みづくりが必要と感じた。</p>	



酒田東高校 2年課題探究B14班 作成資料ポスター

学校名	山形県立霞城学園高等学校
実施期間	令和7年9月29日(月)～令和8年1月19日(月)
<p><b>【食育の充実】</b></p> <p>○「よるカフェ ほっとごはん」の開催</p> <p>2つの社団法人さんのご協力で、毎日の「ご飯と牛乳」という補食の他に、季節に合わせた様々な食材による食事をいただき、月に一度「よるカフェ ほっとごはん」を開催した。「いただきます」や「ごちそうさま」の声がけを通して食への感謝や関心を高めた。また、いつもと違うメニューを通して、クラスメートとの会話を楽しみ、季節感を味わった。</p> <p>◎成果</p> <p>普段は人と食事を摂るのを苦手とする生徒たちも、「よるカフェ ほっとごはん」の日には、クラスメートや他の学年の生徒たちとも一緒に食事を摂ることができた。</p>	

